



助成：一般財団法人地域創造

麒麟獅子舞
(岩美町)

花がさおどり
(米子市)

しゃんしゃん傘踊り・すずっこ踊り
(鳥取市)

打吹童子ばやし
(倉吉市)

さいとりさし
(三朝町)

下蚊屋荒神神楽
(江府町)

伝統芸能功労団体賞知事表彰

第11回

とっとり 11TH TOTTORI TRADITIONAL PERFORMANCE FESTIVAL 伝統芸能まつり

全国どこからでも楽しめる！

「つながる」「ふれあう」「もてなす」
そして「輝き、広がる」

無観客ライブ配信！

2020

8.29 (土)

視聴
無料

配信時間 13:30~16:00

全国の皆様にととりの元気な伝統芸能をお届けします。是非ご覧ください。
ライブ配信は「YouTube」にてご視聴いただけます。

YouTube プロデュース・ハレ 2020とっとり伝統芸能まつり

チャンネル名 プロデュース・ハレ



YouTubeアカウントはこちら

主催／鳥取県 (運営等委託先 NPO法人 プロデュース・ハレ)

問合せ先／鳥取県地域づくり推進部文化政策課 TEL:0857-26-7134 FAX:0857-26-8108



タイムテーブル

- 13:30~13:50 開会・主催者あいさつ
伝統芸能功労団体賞知事表彰 (下蚊屋荒神神楽保存会明神社)
- 13:50~15:55 伝統芸能公演
 - 13:50~14:05 / 打吹童子ばやし 鼓魂組曲
 - 14:05~14:20 / 花がさおどり
 - 14:20~14:40 / さいとりさし
 - 14:40~15:00 / 麒麟獅子舞
 - 15:00~15:20 / しゃんしゃん傘踊り・すずっこ踊り
 - 15:20~15:55 / 下蚊屋荒神神楽 八重垣能
- 15:55~16:00 閉会



司会 **べるを**

地元メディアを中心にパーソナリティーやリポーター・コメンテーターなどを務める。その他、イベントの司会、CM出演、ライターとして執筆活動もこなす。

ライブ配信視聴の際にご用意いただくもの

- インターネットにつながったパソコンやタブレット、スマートフォン
- お好きなお飲み物・お菓子 など



観たい演目だけの視聴ももちろん可能だよ!

伝統芸能紹介 (五十音順※知事表彰を除く)

下蚊屋荒神神楽 八重垣能

さがりかやこうじんかくら やえがきのう

さがりかやこうじんかくらほぞんかいみょうじんしゃ
下蚊屋荒神神楽保存会明神社(江府町)

江戸時代末期に、下蚊屋集落と隣接する備中地方との交流の中で舞われ、下蚊屋集落に住む「木地師」によって神楽面が作られ、農閑期の伝統芸能として定着したものです。明治期に入り集落の青年層によって社中が結成された後、昭和7年(1932年)に保存会が組織され、近年は、春日大社への奉納や東京公演など年間を通して県内外で活動しています。昭和49年(1974年)鳥取県無形民俗文化財指定、平成5年(1993年)文部大臣賞受賞。

打吹童子ばやし 鼓魂組曲

うつぶきどうしばやし こたまくみきよく

うつぶきどうしばやし
打吹童子ばやし(倉吉市)

「天女は子の幸せを祈り、子は母を想い太鼓と笛を打ち鳴らす。」
打吹童子ばやしは、倉吉に伝わる「天女を想い二人の童子が太鼓と笛を奏でた」伝説を「心のふるさと」として、子ども達の笛太鼓で伝えていこうと平成4年(1992年)に誕生した団体で、現在、倉吉周辺の小学生25人で構成されています。倉吉の夏祭り「打吹まつり」では、太鼓を乗せた山車が巡行し、「ワッショイ!」のかけ声で祭りの初日を盛り上げるほか、国内外における多数の舞台でも披露しています。

麒麟獅子舞

きりんじしまい

うらどめきりんじしまいほぞんかい
浦富麒麟獅子舞保存会(岩美町)

麒麟獅子舞は、鳥取藩初代藩主池田光仲が慶安3年(1650年)に勧請した日光東照宮の御神霊を祀る鳥取東照宮の祭礼行列に登場したことが始まりとされ、県東部全域に伝わり、現在も100ヶ所以上で舞われています。岩美町浦富の熊野神社の麒麟獅子舞は、享保年間(1716年)に始まった同神社の神幸祭において、西暦の奇数年の「海の日」前日に披露されています。獅子頭には文化13年(1816年)に大工町(鳥取市)の佛師が製作したと記載されており、歴史あることがうかがえます。「日本海の風が生んだ絶景と秘境 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」」が令和元年(2019年)日本遺産に認定、また、「因幡・但馬の麒麟獅子舞」が令和2年(2020年)国重要無形民俗文化財に指定。

さいとりさし

みささちょうさいとりさしほぞんかい
三朝町さいとりさし踊り保存会(三朝町)

天下御免の鑑札を持つ「さいとりさし(※)」は、権力を笠に着て各地に出かけ、時には殺生禁断の神社仏閣の境内を荒らし回って鳥を捕っていました。こうした振舞いにに対して根強い反感を抱いた民衆が、さいとりさしが鳥を捕る様子を身振り手振りで狂言風に踊ったことが始まりと伝えられ、鳥を捕ることから転じて「嫁をとる」「福をとる」祝狂言として伝承されてきました。保存会は昭和17年(1942年)の設立以来保存伝承に励み、近年は三徳山炎の祭典などのイベントや三朝温泉「あったか座」への出演など活発に活動しています。昭和49年(1974年)鳥取県無形民俗文化財指定。
※さいとりさし…漢字で「刺鳥刺」と書き、鷹狩に使う鷹の餌にする鳥を捕ることを仕事とした者の職名

しゃんしゃん傘踊り・すずっこ踊り

しゃんしゃんかさおどり・すずっこおどり

おーどりー
桜道里(鳥取市)

しゃんしゃん傘踊りは「因幡の傘踊り」を誰でも踊れるよう大衆化された芸能で、鳥取しゃんしゃん祭において多くの市民に親しまれています。また、幅広のしゃもじのような板に6つの鈴を取り付けた楽器を両手に持つすずっこ踊りは誰でも気楽に祭りに参加してもらえるようにと近年新たに導入された踊りです。桜道里は毎年、しゃんしゃん祭において、傘踊りとすずっこ踊りの両方を披露し、子どもから大人まで地元の祭りを楽しく盛り上げているほか、年間を通して様々なイベントで踊りを披露しています。

花がさおどり

はながさおどり

かわさきはながさおどりほぞんかい
河崎花がさおどり保存会(米子市)

昭和時代初期より盛んになった、3つの種類の盆踊り「茶町」「神戸(かんど)」「関の五本松」に花笠を取り入れた河崎地区における独自の踊りです。太平洋戦争時に一時衰退し「幻の踊り」と言われましたが、昭和40年代に有志により復活しました。現在、地区イベントや境港へ寄港する外国船の送迎行事における披露や福祉施設への慰問など様々な活動をしています。花笠のくるくると回った時の美しさや、思わず拍手を打ちたくなるようなにぎやかさが見どころの伝統芸能です。

古典芸能 梨花新能

屋外同日開催
入場無料!
(要入場整理券)

整理券取扱い
とりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザ(米子天満屋4F)、鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス

公演サイトはコチラ

時間・演目

第一部 15:30開演
鳥取喜多流連合会
鳥取宝生会、鳥取親世会
鳥取松響会による連吟、舞囃子

第二部 18:00開演
梨花新能
ねおんぎよく
●解説/林宗一郎 ●大蔵流狂言 寝音曲/茂山忠三郎ほか
●親世流能 小鍛冶 白頭/林宗一郎ほか

会場
とりぎん文化会館
中庭 特設能舞台

雨天の場合はとりぎん文化会館フリースペースに会場を変更します

かがり火の炎に照らし出された舞台、夏の夜空に響く謡や鼓の音色。幻想的な雰囲気の中で能・狂言を上演する「新能」が長らく開催されていないこの鳥取の地によみがえります。屋外の開放的な空間で、格式ある舞台を気軽に楽しむことができ初心者の方にも楽しみたいいただけます。夏のさわやかな夕暮れのひととき、あなたを幽玄の世界へいざないます。

